

平成30年9月11日

サイバーセキュリティ関連情報（9月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

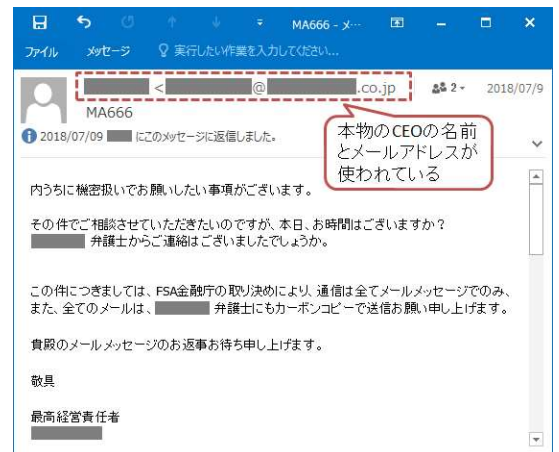
○ 社長を装う日本語のビジネスメール詐欺を初確認！

日本語で記載された「ビジネスメール詐欺（BEC）」が国内で確認されたとして、情報処理推進機構（IPA）は、類似した手口に注意するよう呼びかけている。

今回確認されたメールは、最高経営責任者（CEO）などとして実際の会社社長の氏名を使用し、差出人の表示において、社長の氏名とメールアドレスを詐称していたほか、「機密扱いをお願いします」「金融庁との取り決めでやり取りはすべてメールで行う」などと受信者に他言させないよう持ちかけていた。

同機構では、今後、国内の企業を標的とした攻撃が強まるおそれがあるとし、注意喚起に利用できるチラシやBECに関するレポート等を提供して活用を呼びかけている。

参考 <https://www.ipa.go.jp/security/announce/201808-bec.html>



○ 拡張子「.iqy」のファイルを使うExcelを悪用した攻撃に注意！

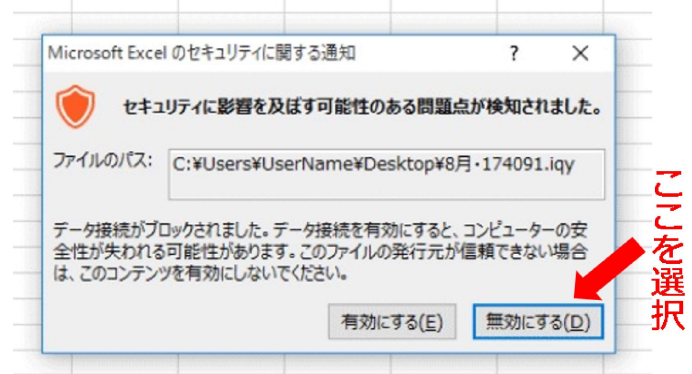
拡張子「.iqy（アイキューワイ）」のファイルを使う攻撃が急増しているとしてトレンドマイクロが注意を呼びかけている。



この攻撃は今年5月に海外で報告され、トレンドマイクロによる観測では、この拡張子のファイルを添付し「お世話になります」「ご確認ください」「写真添付」「写真送付の件」などのさまざまな件名が付けられたメールが流通しているという。

ファイルを開くとMicrosoft Excelが起動し、警告メッセージで「有効にする」を選択すると不正なスクリプトファイルがダウンロードされ、マルウェアに感染する。

被害防止対策として、添付ファイルを開かないこと。仮に開いてしまっても、警告メッセージで必ず「無効にする」を選択するよう呼びかけている。



参考 <https://blog.trendmicro.co.jp/archives/19387>